

ピアッツァ・アルテ・コンチェルト

リコーダーオーケストラの魅力

日時 1月7日 PM1:00

場所 ピアッツァ・アルテ・ホール

料金 2,000円

出演 東京リコーダーオーケストラ

金子健治(指揮) / 横瀬公子(ソプラノ)

曲目 鳥の歌(ジャヌカン)

小フーガト短調(バッハ)

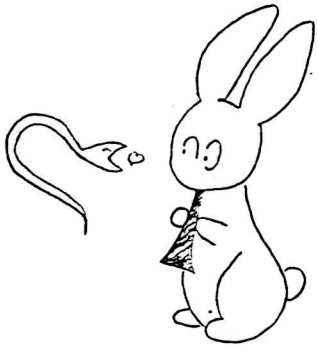
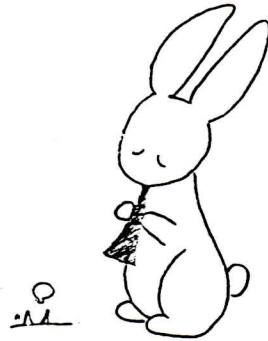
主よ、人の望みの喜びよ(バッハ)

アイネ・クライネ・ナハトムジーク(モーツァルト)

テレシコーレ(プレトリウス)

ディヴェルティメント(サドラー)

トランペット吹きの休日(アンダーソン), 他

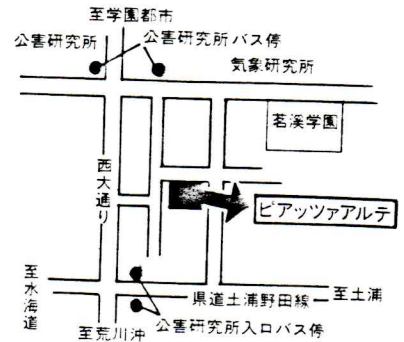


《東京リコーダーオーケストラについて》

全日本リコーダーコンクール・アンサンブル部門に於て、最優秀賞を受賞したメンバーを中心に、在京のソロ、アンサンブルで活躍中の若手リコーダー奏者が集まり、'85年、東京リコーダーオーケストラとして結成される。

'86年より、全国各地でコンサートを開催。

'88年、日本リコーダー協会より、デビューアルバム『リコーダー合奏の魅力』を発売。



ピアッツァ・アルテ・コンチェルトでは、県内外で活躍する音楽家を招き、多方面の音楽を気楽に、質のよい演奏で聴いていただけるようにしたいと思っています。第1回の柿落しのコンサートは、東京リコーダーオーケストラの出演により、リコーダーオーケストラの魅力に迫ります。リコーダーは、小・中学校の音楽の授業での教育楽器として馴染みですが、時にパイプオルガンを思わせるリコーダー合奏の魅力に接したことがあるかたは少ないと思います。大小8種類のリコーダーのアンサンブルで、名曲の数々を心ゆくまでお楽しみ下さい。

主催: ピアッツァ・アルテ音楽教室
〒305 つくば市稲荷前26-9
TEL. 0298-52-3721